



令和2年 9月 1日

第 159 号

◇ 令和元年度標準茶町社会福祉協議会事業報告 ◇

近年、少子高齢化や核家族化、高齢者世帯の増加、価値観の多様化、生活不安の増大、犯罪や事件の深刻化などを背景に、地域社会のつながりや、地域に対する関心の希薄化が問題になっています。

また、これらに関連して、孤独死、虐待、認知症高齢者の行方不明、消費者被害、見守りが必要な人の増加など、地域の福祉課題が徐々に拡大しています。

こういった地域社会の変容と直面する課題に対応するため、制度・分野ごとの「縦割り」や「受け手」「支え手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会である「地域共生社会」の実現に向けて、現在様々な制度改正等が進められています。

地域共生社会の実現に向けて、地域生活課題の解決に資する支援を包括的に提供する体制の整備が求められており、地域福祉の推進役である社会福祉協議会が、それぞれの地域の状況に応じて積極的に関わっていくべく、地域の課題、住民の生活課題への対応と解決に向けた取り組みを、行政、関係機関・団体、住民と連携、協力して行う必要があります。

地域福祉の中核組織を担う本会は、地域住民、行政、福祉施設や福祉団体、ボランティア、民生児童委員、NPO法人など様々な関係機関・団体と連携・協働しながら、第6期地域福祉実践計画の基本目標である「ともに支え合う、安心・安全・福祉のまちづくり」という活動理念の実現を目指す組織としてのネットワークを生かした地域福祉活動を推進し、住民に信頼・理解される社会福祉協議会づくりに努めて参りました。

以下、4つの事業実施方針に基づく取り組み結果及び事業評価について報告致します。

1. 基盤強化について

各種福祉施策は、地域福祉や社会活動のあり方に大きく影響を及ぼすものであり、それらに対応できるよう3部会（総務部会・厚生部会・地域改善ボランティア部会）、正副会長会議、理事会・評議員会を開催し、役職員一体となった組織運営を行うとともに、支え合い活動推進セミナー及び役職員研修会に参加し、役職員の資質向上に努めて参りました。又、財政については、補助金・委託料の趣旨を踏まえた効果的な業務執行に努めました。

2. 住民参加、協働による福祉について

「誰もが暮らしやすい地域づくりの推進」をするため、各種制度・施策の動向や地域の取り組みなど、継続した事業展開から課題（ニーズ）を把握し、関係機関と共有しながら、地域住民に密着した事業推進を図りました。

ボランティア活動内容については、ボランティア実践者の高齢化などの課題はあるものの、ボランティアセンター運営委員会を開催し、ボランティア活動推進についての議論を活発化しています。

小中高生を対象に、総合的な学習として、車椅子体験、高齢者疑似体験、手話体験など出前講座を実施しました。児童・生徒の皆さんが高齢者福祉等の知識や技術を習得する涵養の一助となるよう、今後も関わりを重視して参ります。

愛情銀行に預託された金品についても、厳しい経済状況の中、ご協力をいただきました。

広報誌「ふれあい」とボランティアセンター情報誌「自遊時間」については、社会福祉協議会の事業実施状況なども含め計画どおり発行いたしました。

又、ホームページによる、より身近な広報活動を行いました。引き続きタイムリーな情報提供に努めて参ります。

社協史の編纂については、編纂委員による編纂作業を推進して参りました。

令和元年度標準茶町社会福祉協議会法人運営事業会計収支決算書（単位：円）

勘定科目		当初予算額	決算額	差異	
事業活動による収支	収入の部	会費	1,398,000	1,400,300	2,300
		個人会費収入	800,000	807,300	7,300
		特別会費収入	500,000	490,000	△ 10,000
		賛助会費収入	98,000	103,000	5,000
		寄付金収入	970,000	589,822	△ 380,178
		一般寄付金収入	800,000	410,472	△ 389,528
		経常経費寄付金収入	170,000	179,350	9,350
		経常経費補助金収入	43,880,000	43,880,257	257
		市区町村補助金収入	43,880,000	43,880,257	257
		共同募金配分金収入	2,741,000	2,950,001	209,001
		一般募金配分金収入	1,771,000	1,774,955	3,955
		歳末たすけあい配分金収入	970,000	1,175,046	205,046
		受託金収入	3,116,000	2,781,200	△ 334,800
		市区町村受託金収入	2,785,000	2,445,300	△ 339,700
		都道府県社協受託金収入	331,000	335,900	4,900
		貸付事業収入	150,000	148,200	△ 1,800
		償還金収入	150,000	148,200	△ 1,800
		事業収入	2,443,000	3,155,656	712,656
		利用料収入	2,443,000	3,155,656	712,656
		受取利息配当金収入	1,000	51,869	50,869
雑収入	50,000	459,621	409,621		
事業活動収入計 (1)		54,749,000	55,416,926	667,926	

3. 福祉課題の把握と先駆的な事業の開発について

地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みを目指し、制度内の福祉サービスでは対応しにくい新たな福祉課題・生活課題を把握し、多様な事業展開に努めて参りました。

「ほ〜っとサロン」事業については、安否確認も目的の一つでもある給食宅配サービス、布団乾燥サービスの利用者とボランティアの交流を目的とし、多くのボランティアのご協力をいただきながら実施しました。引き続き地域の福祉課題の把握に努めて参ります。

「福祉金庫資金」及び「助け合い資金」の貸付事業では、町民の応急的な生活資金かつ、利用者の生活背景に意を配りながら利用・活用されました。

心配ごと相談所事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により、就労制限を受けている相談などを受け、「ハローワーク」や「釧路管内生活相談支援センター」の情報提供を行い、必要時には相談員のご協力をいただきながら、町民の方々の悩み解決となるよう事業実施しました。

4. 地域に根ざした福祉サービスの支援体制について

地域の福祉サービスを検証し、利用者本位の福祉サービスの実現に向け、利用者の立場に立ったサービスと地域住民に密着した効果的な支援体制の確立に努めて参りました。

指定居宅介護支援事業所については、引き続き利用者の立場に立った支援とサービスの向上、事業増収に努めて参りました。

標準茶町安心サポートまもるについては、高齢や障がい等により判断能力が十分でない方の権利を守るため、「成年後見制度」や「日常生活自立支援事業」等の相談・申立支援を行うなど、町民の権利が守られるよう、関係機関との連携を図りながら事業実施しました。

子育て支援活動としての、「標準茶町子育てサポートセンターまーぶる」の取り組みについては、依頼会員と提供会員において事業実施を行いました。引き続き事業拡大のため事業周知に努めるとともに、関係機関と連携を図りながら会員の新規会員登録の促進等を行い、安心・安全な事業を推進して参ります。

令和元年度標茶町社会福祉協議会法人運営事業会計収支決算書 (単位：円)

勘定科目		当初予算額	決算額	差異	
事業活動による収支	支出の部	人件費支出	37,699,000	35,862,677	△ 1,836,323
		事業費支出	6,830,000	5,715,927	△ 1,114,073
		事務費支出	9,444,000	7,969,712	△ 1,474,288
		貸付事業支出	150,000	120,000	△ 30,000
		共同募金配分金支出	1,981,000	2,122,194	141,194
		一般募金配分金事業	1,011,000	1,009,294	△ 1,706
		歳末助け合い配分事業	970,000	1,112,900	142,900
		助成金支出	710,000	680,000	△ 30,000
		負担金	100,000	30,000	△ 70,000
		雑支出	0	0	0
事業活動支出合計(2)		56,914,000	52,500,510	△ 4,413,490	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 2,165,000	2,916,416	5,081,416	
福祉運用積立預金収入		0	0	0	
固定資産取得支出		352,000	522,440	170,440	
固定資産除却・廃棄支出		0	0	0	
ファイナンスリース料		726,000	369,360	△ 356,640	
施設整備等による収支差額(4)		△ 1,078,000	△ 891,800	186,200	
人件費積立資産取崩し収入		0	0	0	
事業運営安定積立資産取崩し収入		2,500,000	0	△ 2,500,000	
コスモス積立資産取崩し収入		0	0	0	
拠点区分間繰入金収入		1,443,000	0	△ 1,443,000	
サービス区分間繰入金収入		0	2,472,206	2,472,206	
道民間共済退職金返還金収入		0	649,080	649,080	
その他の活動による収入(5)		3,943,000	3,121,286	△ 821,714	
退職給付引当資産支出		0	0	0	
人件費積立資産支出		0	94	94	
社協運営基金積立資産支出		0	28	28	
事業運営安定積立資産支出		0	50,044	50,044	
サービス区分間繰入金支出		0	2,472,206	2,472,206	
道民間共済退職預け金支出		700,000	673,805	△ 26,195	
その他の活動による支出(6)		700,000	3,196,177	2,496,177	
その他活動資金収支差額による収支計(7)=(5)-(6)		3,243,000	△ 74,891	△ 3,317,891	
当期資金収支差額合計(8)=(3)+(4)+(7)		0	1,949,725	1,949,725	

前期末支払資金残額(9)	1,479,082
--------------	-----------

当期末支払資金残額(10)=(8)+(9)	3,428,807
-----------------------	-----------

愛情銀行預託状況

(敬称を省略させていただきます)

(金銭預託) 令和2年7月15日～令和2年8月14日

住所	氏名	預託内容
阿歴内	菅原三夫	篤志寄付として

(物品預託)

住所	氏名	預託内容
常盤	藁谷茂	衣類、使用済切手 350枚
	匿名	子供服
開運	牛坂ノブ子	プルタブ 959g 充電式LEDライト
旭	(株)㊿みうら	プルタブ 1,847g
	匿名	不要マスク 22枚 透明衛生マスク 10枚

皆さまの善意ありがとうございました。

【発行】



社会福祉法人標茶町社会福祉協議会
標茶町川上10丁目1番地 標茶町総合社会福祉センター内
電話 485-2503 ファクス 485-1679

HP: www.shibecha-shakyo.jp

標茶町社会福祉協議会理事・評議員の選任・解任について

退任理事・評議員に伴う選任が行われ、下記のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

今後とも旧にも倍するご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<理事>

[選出区分]	[退任理事]	[新任理事]
民生児童委員協議会	神 義 光	鈴木 照 男
旭地区部会	吉 田 武	狩 野 克 則
磯分内地区部会	林 博	嶋 中 勝

<評議員>

[選出区分]	[退任評議員]	[新任評議員]
麻生地区部会	石 川 伊 佐 雄	須 崎 藤 春
富士地区部会	佐 藤 鉄 男	熊 谷 一 行

任期：選任決議の日～令和3年定時決算評議員会終了時まで

今後の事業等の中止のお知らせ！

新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、下記の事業等を中止とさせていただきます。

<標茶町老人クラブ連合会関連事業>

- 9月 3日(木) 釧路地区老人クラブ連合会第17回パークゴルフ大会
- 10月 3日(土) 標茶町老人クラブ連合会第24回シルバーフェスティバル(第52回標茶町老人クラブ福祉演芸大会)
- 10月13日(火) 釧路地区老人クラブ連合会会員リーダー研修～14日(水)会

<社会福祉協議会関連事業>

- 11月28日(土) 第52回社会福祉研究大会及びボランティアセンターフリーマーケット
- 令和3年
2月 5日(金) 社会福祉活動者研修交流会

標茶町共同募金委員会より災害義援金のご協力について

令和2年7月の大雨災害により、各地で人的被害をはじめ住家被害等大きな被害が発生しました。

標茶町共同募金委員会では、被災された方々を支援することを目的に義援金の募集を行います。

- ・義援金の名称 令和2年7月豪雨災害義援金(熊本県、福岡県、鹿児島県、大分県)
- 受 付 期 間 令和2年12月28日(月)まで、標茶町共同募金委員会事務局で受付いたします。

下記の災害義援金の取り扱いについては、直接、振込となりますので、振込等詳細についてお問い合わせください。

- ・義援金の名称 令和2年7月豪雨災害義援金(岐阜県、島根県、長野県)
- 受 付 期 間 令和2年9月30日(水)まで
- ・義援金の名称 令和2年7月豪雨災害義援金(佐賀県、山形県)
- 受 付 期 間 令和2年12月28日(月)まで
- ・そ の 他 災害義援金のみ取り扱います。救援物資・物品は取り扱いません。
- ・問い合わせ先 総合社会福祉センター内 標茶町共同募金委員会
電話：485-2503

